

かげふみ

明夏

影踏みをした幼い日
友を追いかけ
迷いながら踏んだ
影でも踏んだら痛いのではないかと

アリや人形
葉っぱやカエル
声にならない痛みへの想像力
大人になるほどに失われ
残ったのは記憶だけ